学校番号	１２０３

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２、４単位	年次	２年次
使用教科書	「新　高等学校　国語総合」（明治書院）						
副教材等	意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） 新版三訂　カラー版新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語総合αでは、現代文を学習する。随想・評論・小説を中心に読み取りを行い、表現力や思考力を豊かにしていくことを目標にする。また、漢字やことわざ、慣用句などを学習し、表現の幅を広げていく。
国語総合βでは古典を扱う。今使っている言葉の基礎となっている古文や漢文を学ぶことで、日本の文化や生活様式を知り、豊かな想像力や思考力を養っていく。
そのために、文法や知識など、古典における基本を学習し、多くの古典作品に触れる。

2　学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりする。	相手、目的、意図に応じて適切な表現で文章を書き、自分の考えをまとめている。	的確に文章を読み取り、自分の考えをまとめ、理解を深めている。	表現と理解に役立てるための文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンス、学習活動における発言内容）	記述の確認 （ノート・ワークシート等）	記述の確認 （ノート・ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

・現代文

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	現代文入門	待つことの形 ・筆者が考える「待つこと」の定義について、正確に表現できるようにする。	○	○		○	○	a: 「待つこと」について、自己や他者の経験をふまえ、より深く考えている。 b：自分なりに考えた「待つこと」の定義について話し合っている。 d:「待つこと」について、筆者が考える意味およびものを書く人間が重複している理由を理解している。 e: 文中の漢字や語句、比喩表現の意味を把握している。	授業態度 ノート 定期考査
	評論	コインは円形である ・「コインは円形である」という表現が、結論とどう結びつくかを、的確に読み取る。	○			○	○	a: 表現がものの見方に関わることを、身近な例を示して説明しようとしている。 d: さまざまな表現を試みることが、発見的認識や相互理解に結びつくという筆者の主張を理解している。 e: 接続語の働きや指示語の内容を理解し、文脈上の語の意味をつかんでいる。	授業態度 ノート 定期考査
	小説	羅生門 ・小説を読み味わい、そこに描かれた人間の生き方についての考えを深める。 ・小説に親しみ、場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。	○		○	○	○	a: 老婆の話に対する下人の行動について意見を表明しようとしている。 c: 下人のその後の姿についてうまく文章にまとめている。 d: 下人の心理の変化を追っている。 e: 人物や情景の描写、比喩の喚起するイメージなどの表現効果について読み取っている。	授業態度 ノート 定期考査
	評論	美意識は資源である ・論の展開や主張内容から筆者の発想の豊かさを体験し、評論のおもしろさに気づく。 ・論旨、主張の根拠、その主張から生まれる展望について正確に把握する。	○			○	○	a: 論の展開や主張内容を正しくつかむとともに、自らの美意識・価値観について考えようとしている。 d:段落分け・要旨のまとめ等を通して、筆者の主張や文章構成を理解している。 e: 難解な言葉の意味・用法、指示語、評論独特の言い回しを正確に理解している。	授業態度 ノート 定期考査
後期	評論	失敗に学ぶ ・例示との対比から導く筆者の見解を正確に理解する。 ・「失敗」というキーワードを理解する。	○			○	○	a: 論の展開を理解したうえで、自分の考えを意見文にまとめようとしている。 d:筆者の考えを理解し、自分の意見を持っている。 e: 失敗からプラス面を引き出し、創造へと導く重要性を理解している。	授業態度 ノート 定期考査

	小説	海の方の子 「私」と「哲夫」、「教室の子どもたち」の人間関係を読み取り、「私」の心理的変化を丁寧におさえる。	○			○	○	a：作品の主題を考え、文章にまとめようとしている。 d：「哲夫」との交流によって起きた「私」の心の変化を読み取っている。 e：語り手の回想という形式を把握し、語り手が「私」をどのような視点で捉えているか理解している。	授業態度 ノート 定期考査
	小説	清兵衛と瓢箪 丹念に読み、時代や作者の背景などを知ることで、多角的に作品にアプローチし、読み解いていく楽しさを味わう。	○			○	○	a：主題について考察し、自分の身に引きつけて考えようとしている。 d:あらすじをまとめ、段落分け等を通して小説全体の構成、内容を理解するとともに、登場人物の人物像を把握し、作者の主張を読み取っている。 e：作品の成立について理解し、作者に関する興味や知見を広げている。	授業態度 ノート 定期考査

・古典

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	古文	宇治拾遺物語「検非違使忠明」 ・正しく音読する。 ・古語辞典の使い方に慣れ、こまめに引く習慣を身につける。	○			○	○	a：話のおもしろさはどこにあるかを考えている。 c:主述関係をつかんで、話の展開を理解し、内容をまとめている。 d:歴史的仮名遣いに注意して正確に音読できる。 e：古語の意味・用法について調べるなどしている。	授業態度 ノート 定期考査
	古文	徒然草「奥山に猫またといふものありて」 ・古語の意味・用法に注意して現代語訳する。 ・それぞれの場面での法師の心情を考える。 ・この話のおもしろさを考え、全体の構成を捉える。	○			○	○	a：作者の主張について、自分の考えをまとめようとしている。 d:話の展開を正確に理解している。 e：正確に現代語訳している。	授業態度 ノート 定期考査
	古文	徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」 ・音読し、内容を把握する。 ・古語の意味・用法、文法事項に注意して現代語訳する。 ・「懈怠の心」がどのように生まれると考えられているか、まとめる。	○			○	○	a：作者の主張について、自分の考えをまとめようとしている。 d:話の展開を正確に理解している。 e：文法事項を正確に把握し、現代語訳が自然な表現として整えられている。	授業態度 ノート 定期考査

	漢文	故事「守株」 ・指導者の範読を聞きながら、訓点に従って原文を目で追う。 ・一文ずつ解釈する。 ・宋人が笑い者となった理由を考える。 ・「株を守る」という言葉を辞書で調べる。	○			○	○	a: 故事成語の由来を理解し、現代の生活の中にも生きていることを理解しようとしている。 d:・訓読法の規則を理解できている。 e：基礎的な句法を理解し、読解する手順を身につけている。	授業態度 ノート 定期考査
	漢文	唐詩 ・漢詩の特質を理解して鑑賞し、漢詩についての興味・関心を広げる。 ・唐代の詩の名作に親しみ、作者の心情や描かれた情景を想像し味わう。	○			○	○	a:・唐詩に見られる自然観・人間観について理解しようとしている。 ・作者の心情を理解しようとしている。 d:唐詩を正確・丁寧に音読している。 e:句形・重要語句を理解し、現代語訳している。	授業態度 ノート 定期考査
後期	古文	竹取物語「かぐや姫の生ひ立ち」「かぐや姫の嘆き」 ・古語の意味・用法、文法事項、敬語に注意しながら、現代語訳し、大意をおさえる。 ・かぐや姫の言葉を参考に、かぐや姫の悲しみの理由をまとめる。 ・翁の心情の変化を読み取る。 ・「月の都」と「この世界」との違いを考える。	○			○	○	a: 作者が作品を通して描こうとしたことについて理解しようとしている。 b:疑問点や感想など自由に意見を発表できている。 d:登場人物の人間像を理解している。 e: 古語や文法に注意しながら、文脈を追って内容を読み取っている。	授業態度 ノート 定期考査
	古文	伊勢物語「芥川」「東下り」 ・重要古語の意味を確認する。 ・現代語訳し、段落ごとに内容を確認する。 ・男と女の境遇と事件の展開とについて考える。 ・歌の修辞を確認する。	○			○	○	a: 歌物語の特徴を理解しようとしている。 d:物語の中の人物の心情や行動を理解している。 e: 歌物語の中心となっている和歌を鑑賞している。	授業態度 ノート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。